

奄新懇第16号
令和6年2月27日

奄美群島市町村長会長 殿

奄美群島新ビジョン懇話会
座長 原口 泉

奄美群島成長戦略ビジョン2033について

本懇話会は、奄美群島12市町村が奄美群島成長戦略ビジョン基本計画・実施計画を策定するにあたり、その案について協議した結果、奄美群島新ビジョン懇話会規定第2条第1項3号の定めに基づき、下記のとおり提言する。

記

奄美群島12市町村は奄美群島成長戦略ビジョン2033（以下、「ビジョン」という。）の策定以降、その計画の実現のために、具体的な取組の内容等を示す基本計画・実施計画の策定を進めていることは大いに評価するところである。

昨今の奄美群島を取り巻く状況は、令和3年7月には奄美大島と徳之島が沖縄とともに世界自然遺産登録されたほか、長く続いてきた新型コロナウイルス感染症が収束するなど、自立的発展を後押しする情勢に好転してきていると言える。

このような状況の中、ビジョンの基本計画・実施計画の策定と併せ、奄美群島観光の具体的な方向性を示す「奄美群島しまづくりプラン」の策定への取組や、生活・文化においてつながりの深い沖縄との連携協定を結ぶなど、ビジョンの将来像の実現をより近づける取組の実施に努めている。今後ともビジョン各方面において計画の推進体制を強化する取組の実施に期待するものである。

これらを踏まえ、ビジョン実現に向けた取組が結実することに期待を込めた奄美群島成長戦略ビジョン2033基本計画・実施計画の考え方について、別添のとおり示す。

以上